

行政視察報告書

令和6年11月 5日

長浜市議会議長 高山 亨 様

長浜市議会議員 千 田 貞 之

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 令和6年度議会活性化検討委員会・
議会運営委員会合同行政視察研修

2. 視察期間 令和6年10月30日(水)

3. 視察場所及び目的

①岐阜県可児市議会

「議会改革・議会活性化について」

4. 調査内容感想等

・視察の目的

①議会改革の先進地である岐阜県可児市議会の活性化について手法や、取り組みを通じて、本市に役立つことを学ぶことが目的である。

・視察内容

①以前に、本市議会が、研修に行かれたようであるが、私も含め、初めての参加者が大半でしかも、議会活性化委員と議会運営委員会との合同研修で参加した。可児市議会の研修資料が多く、更に、内容も充実していて、我々とのレベルのギャップに驚かされた。

議会改革に取り組まれたきっかけは、人口減少、市議会議員選挙の投票率の低下

など、市民の議会に対する関心度が低いため、議会に対する関心度を上げるため、平成 23 年度にアンケート調査を実施し、その後、議会基本条例の制定などを経て、平成 25 年には議会のフェイスブック開設、インターネット配信、高校生議会、地域課題懇談会、ママさん議会の取組、平成 29 年度より委員会代表質問の開始、平成 28 年には第 2 回アンケート、令和 2 年第 3 回アンケートの実施年 2 回の市民への報告会、高校生議会の数回開催、オンライン会議の実践等、とても我々の市議会では成しえない程の議会活動に驚きました。

アンケート結果からは、市民の議会に対する厳しい現状と議会の関心度の低さから議会改革の必要性を再認識されていました。それらが今日に至る原動力であることを知りました。今後、議会が取り組むべきことは、意見交換の充実、議員の資質向上がアンケート結果で理解し、「議会の見える化」の必要性を感じました。情報公開の徹底、議会だよりの展開、市民の声を聴く機会の創出
議会内では、議員の任期の 4 年間を一つのサイクルとして、任期中に提言をまとめて、提案しそれぞれの年度で執行部へ進捗など定期的に行い、更に、議会、学校、行政、地域との協議を年間で若い世代との交流サイクルとして行われている。地区別、課題別、世代別、その他として色々な視点から問題意識を共有して、議会活動に取り組まれてた。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

全ての取り組みを生かさなければならぬと思うが、ここまで徹底して取り組むことは、かなりのハードルではないだろうか。まず、できることは、委員会の代表質問ではないだろうか。本市議会でも、する方向性ではあるが、中々、実際には委員会としての共有の徹底、質問の論点など一言一句チェックして行うことは簡単ではないと思う。更に、するからには、執行部側からの反対にあうことなく、市民の意見の集約として、臆することなく質問できるように取り組むことが重要である。

高校生との意見交換会は、探究活動の一環として取り組まれているが、以前に本市議会でもオンラインで広報広聴委員会で取り組みを行った経験を活かし、再度挑戦してもよいと思う。主権者教育としても有効であることをもっと議

会側からもアピールできるのではないだろうか。 いずれにしても、もっと他市の事例を参考に議会側からのアプローチをしていく事が必要ではないだろうか。

これからの長浜市を担っていくであろう若者の意見を聞く機会を創ることは喫緊の課題として取り組みたい。

